

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究 活動日時：2024年4月26日（金）

＜活動のテーマ＞

柑橘類を調べてみる、実際に探しに行ってみる

＜テーマ設定の理由＞

収穫した夏みかんに触れたり、食べたりして、酸っぱいことに気が付き、甘い物はどれに興味を持った為。

＜活動スケジュール＞

柑橘類や果物の種類を知る。甘い果物について知る。

＜環境設定＞

果物図鑑、画用紙、パン

＜活動内容＞

- ・図鑑を見て柑橘類や果物を調べて絵にかいてみる。
- ・実際に八百屋に足を運び、どんなものが売っているのかを見てみる。

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞ 子ども「」、保育者「」

・図鑑を見て

「オレンジもみかんに似てるね」

（画用紙に絵を描いてみて）「名前を書いたら分かりやすいかな？」

「みんなが甘いと思うのはどれ？」

「いちごとかも甘いよね」

「夏みかんはすっぱかったけど、みかんもあまいよ」

「見ながら絵に描いてみたい！」



・八百屋に行ってみて

「いろんなフルーツがあるね」

「みかんに似てるけどこれはなんだろう？」（デコボン）

「みかんみたいなのたくさんあるんだね」



＜振り返り＞

・収穫した夏みかんや夏みかんで作ったジュースを実際に食べ、酸っぱさを感じたことから「甘いジュースを作るにはどうしたらいいんだろう」「甘い果物は何だろう」と考える姿が見られた。図鑑を見て今まで自分が食べてきた経験をもとに「これは甘い」と話しながら、周りの友だちと意見を共有していた。

・八百屋に果物を見に行くと、夏みかんを基準に色や形を比べる姿が見られた。似たようなものがあることに気づき「これも食べてみたい」と話していたので、子どもが興味を持った物を使ってさらに深めていく機会を作りたいと思う。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究 活動日時：2024年5月20日（月）

＜活動のテーマ＞

みかんのジュースを作り飲み比べてみる

＜テーマ設定の理由＞

夏みかんのジュースづくりを通して、別の柑橘類への興味、味の違いへの興味があった為。

＜活動スケジュール＞

それぞれの柑橘類を絞って飲み比べてみる

＜環境設定＞

テーブル、ボウル、紙コップ

＜活動内容＞

- ・デコボン、河内晩柑、カラマンダリンの三種類を飲み比べて違いを感じてみる。
- ・気づいたことや感じたことを友だちや保育士と伝え合う。

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞ 子ども「」、保育者「」

- ・それぞれの色や形、大きさの違いを見比べてみる。
- ・匂いをかいで「夏みかんと同じ匂いがするね」と話す。
- ・飲み比べてみて
- 「これは夏みかんよりも甘いね」
- 「甘酸っぱくておいしい」
- ・午後、みかんの違いを思い出しながら書き出してみる。
- ・みかんの絵をかき、それぞれのみかんに吹き出しを書き、中に色の違うハートを書く
- 『色の違いは何があるの？』
- 「ピンクより黄色の方が甘い」
- ・別の児も同じように吹き出しにハートを書き、美味しさや酸っぱさを表現する。



＜振り返り＞

- ・前回、八百屋に行った際に夏みかんに似たようなものがあることに気づき、比べたいと話していた為、今回の活動を行った。実際に並べて見比べてたり、ジュースを飲み比べてみたりしたことで、色と味の違いが関係しているのか考える児もいた。
- ・午後、絵に描いてみるとハートの色でそれぞれが感じた違いを表現していた。違いを言葉で表現すると想定していたが、実際は色で違いを表現していた為、色々な方法での表現の仕方があることを改めて感じる事が出来た。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究 活動日時：2024年9月5日（木）

＜活動のテーマ＞

みかんをじっくり観察し、皮の色を作ってみる

＜テーマ設定の理由＞

みかんをじっくりと観察し、興味を深めていくため

＜活動スケジュール＞

- ・3グループに分かれて行う。
- ・気になる柑橘を買いに行き、じっくりと観察する。観察をした後は、本物そっくりの色を作ってみる。

＜環境設定＞

絵の具（赤、青、黄）、筆、画用紙、みかん

＜活動内容＞

- ・みかんの色をじっくりと観察し、発見を楽しむ
- ・本物そっくりの色を作り、色の違いに気付く

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞ 子ども「」、保育者「」

「みかんは、オレンジ色だね」「良い香りがする！」

『観察しながら、本物そっくりの色を作ってみようか』『どうしたらオレンジ色ができるかな？』

「赤と白を混ぜてみようかな。」

「少し違う気がする・・・」

「みどりも混ぜてみようかな」

「赤と黄色を混ぜると、色が近付いてきたよ！」

「本当だ！真似してみようかな」

『オレンジ色だけど、本物と見比べてどうかな？』

「少し違う気がする！黄色を足してみようかな！」

「色が近付いてきた気がするね！」



＜振り返り＞

・オレンジの色作りでなかなか絵の具の加減が難しく、量が多くなることが多かったので、絵の具の容器を口が小さいものに変えるなど検討していく。
また、色作りをしていく中で、黄色を入れたらどうなるか、青を入れたらどうなるかが分からずにいる姿があったので、今まで使ってきた色と一緒に見ながら、「これに黄色を入れたらどうなった？」と問いかけていくようにした。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究 活動日時：2024年9月6日（金）

＜活動のテーマ＞

みかんをじっくり観察し、皮の色を作ってみる

＜テーマ設定の理由＞

みかんをじっくりと観察し、興味を深めていくため

＜活動スケジュール＞

- ・3グループに分かれて行う。
- ・気になる柑橘を買いに行き、じっくりと観察する。観察をした後は、本物そっくりの色を作ってみる。

＜環境設定＞

絵の具（赤、青、黄）、筆、画用紙、みかん

＜活動内容＞

- ・みかんの色をじっくりと観察し、発見を楽しむ
- ・本物そっくりの色を作り、色の違いに気付く

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞ 子ども「」、保育者『』

- ・色水を使って色を作る児が多かったが、作った色を紙に塗ってみると、色が薄いことに気が付き、ほとんどの児が絵の具を使って色を作り始める。



- ・オレンジを作るには赤と黄色を混ぜることを知っていたが、赤が多くなるとなかなかオレンジにならずに悩む姿があった。
- ・一人の児が色の調節をしていると「黄色をいっぱい、赤をちょっとにしたらオレンジができる」と周りの児に伝える。



→周りの児は真似をしてオレンジを作ってみる。



- ・黄色と赤で作った色に青を入ると、茶色になってしまうことに気づく。
- ・全体的に周りの児がどうやっているのかを観察して、色が近付いている児のやり方を真似していた。

＜振り返り＞

- ・絵の具の容器の口が少し太かったことで、量の加減が難しく、色の調節に悩む児が多かった。絵の具の容器の口を小さいものに変える事を検討していく。
- ・自信がなかったのか、周りの児のやり方を見て真似しようとする児が多かった。自分なりに考えて自由に作れるように、少人数で活動する等、人数も検討していく。
- ・気づいたことを言葉にして周りの児に伝え、それを聞いて実際に色を作ってみる等、グループ全体で情報を共有していく姿があった。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究 活動日時：2024年9月10日（火）

＜活動のテーマ＞

みかんとじっくり観察し、皮の色を作ってみる

＜テーマ設定の理由＞

みかんとじっくりと観察し、興味を深めていくため

＜活動スケジュール＞

- ・3グループに分かれて行う。
- ・気になる柑橘を買いに行き、じっくりと観察する。観察をした後は、本物そっくりの色を作ってみる。

＜環境設定＞

絵の具（赤、青、黄）、筆、画用紙、みかん

＜活動内容＞

- ・みかんの色をじっくりと観察し、発見を楽しむ
- ・本物そっくりの色を作り、色の違いに気付く

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞ 子ども「」、保育者『』

「みかんの皮と同じ色作るんだよね」

「オレンジは、赤と黄色を混ぜるんだよ」「混ぜたけど違う」

「白を混ぜたら薄まるかな？」

「赤よりも黄色をたくさん入れたらいいんだよ！」

『本物みたいになったかな』『みかんの色に近づいてきたよ！』



＜振り返り＞

・本物に似た色を作る為に、みかんとじっくりと観察したり、似ている色ができたらみかんに塗り、色を比べてみたりしていた。子ども達もじっくり色の観察をしていると、薄めのオレンジに近付くためにはどうしたらいいのか、じっくり考える姿があったので、保育士も一緒に考えたり、探求していった。